

岸和田市 地震ハザードマップ

●お問い合わせ
岸和田市 危機管理部 危機管理課
〒596-8510 大阪府岸和田市岸城町7番1号
TEL 072-423-9437
FAX 072-423-6933

想定される建物被害

解説

このマップは、岸和田市域に大きな影響を及ぼす可能性のある地震が発生した場合、どのくらいの建物被害が予想されるかを示したものです。市域に大きな影響を及ぼす可能性のある地震は、①上町断層帯地震、②中央構造線断層帯地震、③南海トラフ巨大地震の3つを想定しています。皆さんのお住まいの地域でどのくらいの建物被害が予想されるかを確認し、地域の地震対策に役立ててください。

このマップで示す地域危険度は、100mメッシュに区分した地域ごとの建物被害の危険性を示したものであり、個別の建物の危険性を示すものではありません。

想定される建物被害は、大阪府地震被害想定調査(平成19年3月大阪府公表)に基づいて作成しています。

●このマップを使って、こんなことを確認してください。

- 自分の家や近所の危険度はどのくらいか
- よく行くところ、よく通る道の危険度はどのくらいか
- 避難場所までの経路の危険度はどのくらいか

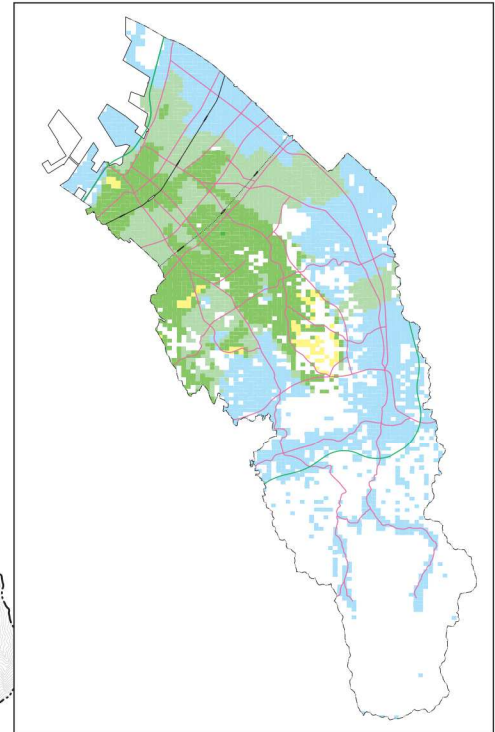


避難場所リスト

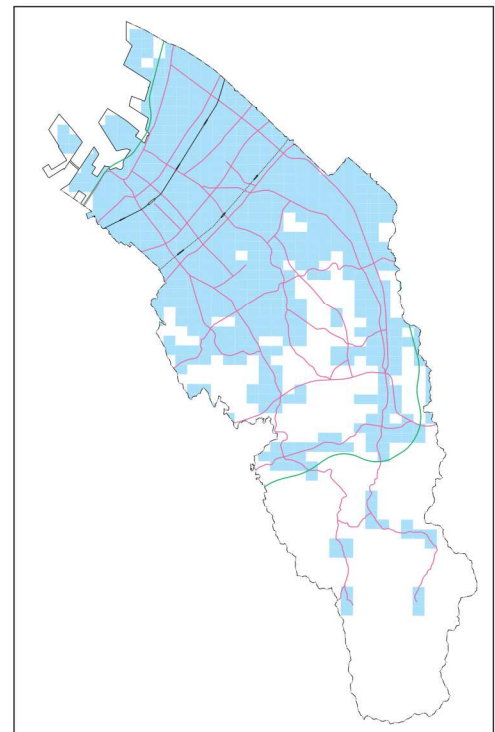
広域避難場所		
1 浜工公園(阪南1区港湾緑地を含む)	2 岸和田輪船(周辺駐車場を含む)	3 中央公園
4 蛸池公園		

一時緊急避難場所		
1 千亀利公園	7 今池公園	13 八木運動広場
2 南公園	8 葛城運動広場	14 久米田公園
3 鴨池青少年広場	9 春木台青少年広場	15 菊ヶ池青少年広場
4 牛ノ口公園	10 春木運動広場	16 上松公園(ときわ公園)
5 宮の池公園	11 八幡山公園	17 中島池公園
6 野田公園	12 北公園	

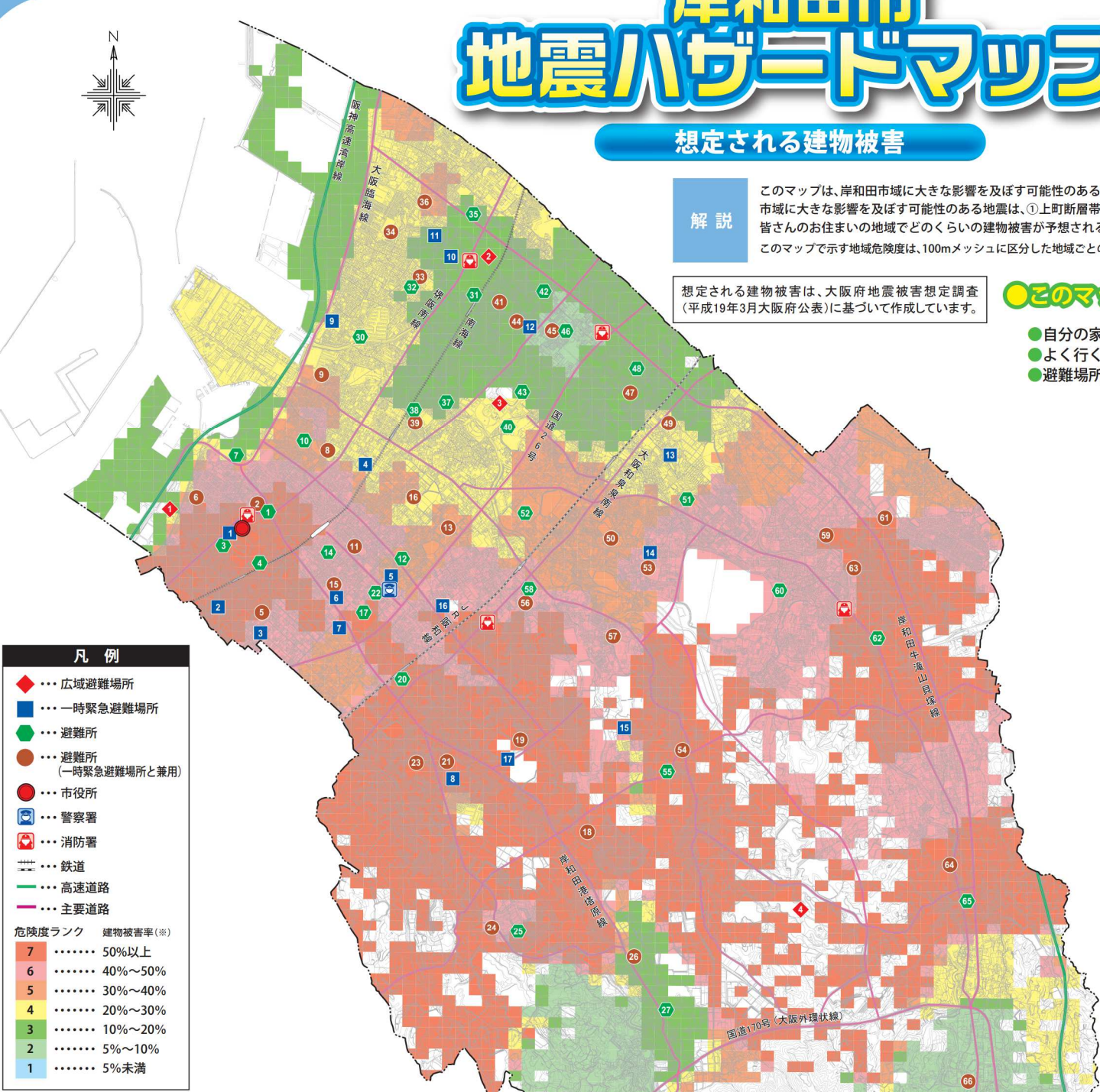
避難所		
1 市立公民館	24 天神山小学校※	47 八木北小学校※
2 中央小学校※	25 天神山地区公民館	48 箕土路青少年会館
3 心技館	26 修善小学校※	49 八木小学校※
4 岸和田高等学校	27 有真香会館	50 八木南小学校※
5 城内小学校※	28 東葛城小学校※	51 八木市民センター
6 浜小学校※	29 葛城上地区公民館	52 久米田高等学校
7 浪切ホール	30 春木体育館	53 久米田中学校※
8 朝陽小学校※	31 春木市民センター	54 光明小学校※
9 野村中学校※	32 春木地区公民館	55 光明地区公民館
10 光陽地区公民館	33 春木小学校※	56 常盤小学校※
11 東光小学校※	34 春木中学校※	57 桜台中学校※
12 産業会館	35 大芝地区公民館	58 桜台市民センター
13 産業高等学校※	36 大芝小学校※	59 山直北小学校※
14 福祉総合センター	37 サン・アビリティーズ	60 久米田青少年会館
15 岸城中学校※	38 大宮青少年会館	61 城東小学校※
16 光陽中学校※	39 大宮小学校※	62 山直市民センター
17 和泉高等学校	40 総合体育館	63 山直中学校※
18 葛城中学校※	41 北中学校※	64 山直南小学校※
19 土生中学校※	42 城北地区公民館	65 山直地区公民館
20 東岸和田市民センター	43 文化会館(マドカホール)	66 山直中学校※
21 旭小学校※	44 城小学校※	67 山滝小学校※
22 中央体育館	45 新条小学校※	
23 太田小学校※	46 新条地区公民館	



②中央構造線断層帯地震が起きた場合の予測建物被害



③南海トラフ巨大地震が起きた場合の予測建物被害



凡例

- ◆ 広域避難場所
- 一時緊急避難場所
- 避難所
- 避難所 (一時緊急避難場所と兼用)
- 市役所
- 警察署
- 消防署
- 鉄道
- 高速道路
- 主要道路

危険度ランク	建物被害率(※)
7	50%以上
6	40%~50%
5	30%~40%
4	20%~30%
3	10%~20%
2	5%~10%
1	5%未満

(※)建物被害率=(全壊率)+(半壊率/2)

地震への備え

地震発生時、家具の転倒によってケガをしたり、避難経路がふさがれてしまったりすることがあります。いざというときのために、家具の固定や置き方の工夫を行いましょう。

家具の転倒防止

- 収納に工夫を!**
重いものは下に、軽いものは上に。本棚などは、隙間をフックエンドで固定するなど、なるべく隙間を作らない。
- 照明器具の補強を!**
吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで留める。
- ガラスの飛散防止を!**
割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼る。

耐震金具を利用しよう!

- 転倒防止金具**
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。
- 扉・引き出し開放防止金具**
地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止棒をつけると安心です。
- 重ね留め金具**
重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

あなたのお住まいは大丈夫?

耐震診断を受けましょう。

地震対策の第一歩は、自分の家の耐震性能を知ることです。大きな地震が起きても自分の家は大丈夫なのか、耐震診断を受けて確かめましょう。

耐震性の判断には建築の専門知識が必要です。外見に異常が見られなくても、専門家による耐震診断を受けることが重要です。

- ① 専門家に依頼
信頼できる専門家に依頼しましょう。診断内容と費用についてきっちり説明を受けましょう。
- ② 調査前・調査当日
調査前に準備することなど聞いておきましょう。当日は建物の内外を調査しますので、所有者が必ず立会いましょう。
- ③ 調査後
耐震診断報告書もらい、内容について説明をよく聞きましょう。

耐震改修工事を行いましょう。

耐震補強の種類

安全でないと診断された場合は、適切な耐震改修工事を行うことで安全性を確保できます。ここでは、耐震改修工事の主な方法を紹介します。専門家に相談して自分の家にもっとも適した方法を選び、耐震改修工事を行いましょう。

- 『**屋根**』の軽量化
軽い材料の屋根に替えることで、耐震性を向上!
- 『**建物の基礎**』の補強
土台が大切基礎の補強で建物の性能UP!
ひびの入った基礎は樹脂などを注入して補強。
無筋コンクリートは耐震性に劣ります。
新たに鉄筋コンクリート造の基礎を築き直します。
- 『**腐朽部材**』の交換
腐朽部分は新しいものと交換しよう!
腐化した部材を部分的に取り替えた場合、接合部が弱点にならないように補強しましょう。
- 『**接合部**』の補強
火打金物・制震金物・筋かいプレート・山形金物などで補強することで地震の揺れによる歪に耐えることができます。
- 『**壁**』の補強
耐力壁を増やそう!
耐力壁の量をふやすと建物は丈夫になります。
揺れによるゆがみ
耐力壁のバランスを良くしよう!
壁の配置にかたよると、地震で建物がおしつぶされやすくなります。壁の少ない所に耐力壁を設ける補強をして、建物のバランスを良くします。
筋かいを入れる
構造用合板で補強する
- 『**耐力壁**』とは...
ただのボードを張っただけの部材の壁と区別され、構造用合板などを張り、指定される地震力に耐えられる壁のことをいいます。筋かいの入った壁も含まれます。
- ひと部屋だけを耐震化することも有効
家全体の耐震改修が困難な場合、ひと部屋だけでも補強をして安全空間を作っておく、いざというときに逃げ込む場所として有効です。

①上町断層帯地震が起きた場合の予測建物被害

1:25000

500 0 500 1000 1500m

想定した3つの地震の中で、最も建物被害が多いと予測される①上町断層帯地震の結果を拡大して示しています。